

■ 課題解決のためのコンセプトと対策案

修正 WS案 A

子育て支援機能の集約化による機能・安全面の強化、民間活力による施設整備

【短期的取組】

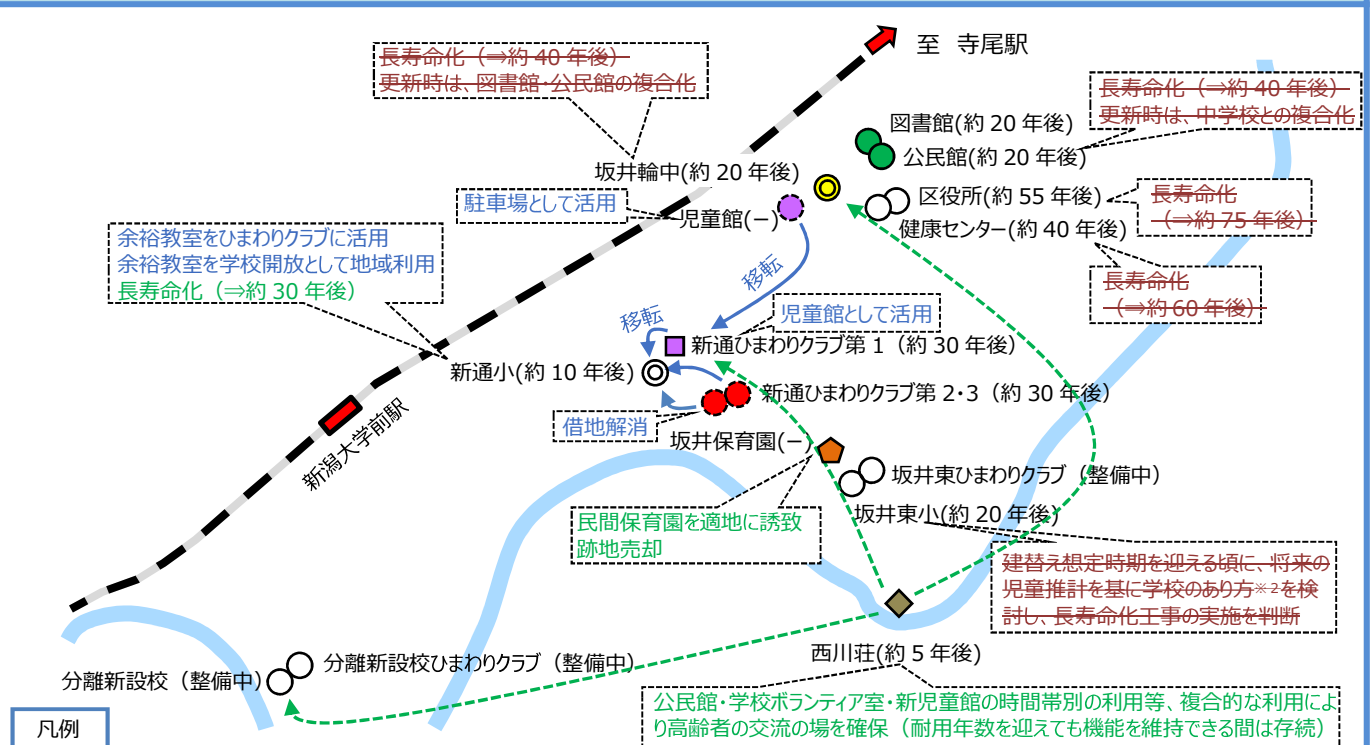
- ・ 新設小学校開設に伴う新通小の余裕教室を活用し、新通ひまわりクラブを校舎内に移転・借地を解消
- ・ 新通ひまわりクラブ第1は、児童館に転用
- ・ 余裕教室を学校開放の位置付けで、自治会活動の場として活用

【中期的取組】

- ・ 民間保育園を適地に誘致し、駐車場・園庭スペースを確保（市立保育園は廃止）
- ・ 西川荘は高齢者の交流の場としての機能を既存施設で分散確保（耐用年数を迎えても機能を維持できる間は存続）

【長期的取組】

- ・ 「中学校の建替え時に図書館・公民館と複合化」は、適切な時期に改めて検討



凡例

—— 短期的取組(〜5年程度) —— 中期的取組(10年程度) —— 長期的取組(20年程度〜)

() の年数：建替え想定時期※1、想定時期を超えている場合は『-』と表記

◎◇ 複合化・多機能化 □ 用途転用 ◇ 将来 売却・貸付 ○ 存続 ○ 解体 ◻ 民営化などを検討

※1 建替え想定時期は、鉄筋コンクリート及び鉄骨造を60年、木造及び軽量鉄骨造を40年と仮定。時期を超えても建物が使用できなくなるわけではありません。

※2 学校のあり方については、将来の児童生徒数の状況を踏まえながら、改めて地域とともに検討を進めます。

特 徴

【長 所】

- ・ ひまわりクラブが校舎内に確保され、安全面が強化される
- ・ ひまわりクラブ第1を児童館として有効活用することで、耐震性が確保される
- ・ 保育園を適地に移転することで、駐車場・園庭スペース確保が期待される
- ・ 保育園の民営化により、大きなコスト削減と休日の保育サービスの可能性が期待される

【課 題】

- ・ 児童館の移転に伴い、屋外広場の確保が課題となるとともに、駐車場が縮小となることから、近隣の駐車場確保の検討が必要となる

対策案（たたき台）

■ 課題解決のためのコンセプトと対策案

修正WS案 B

子育て支援機能の集約化による機能・安全面の強化、将来人口に合わせた機能統合

【短期的取組】

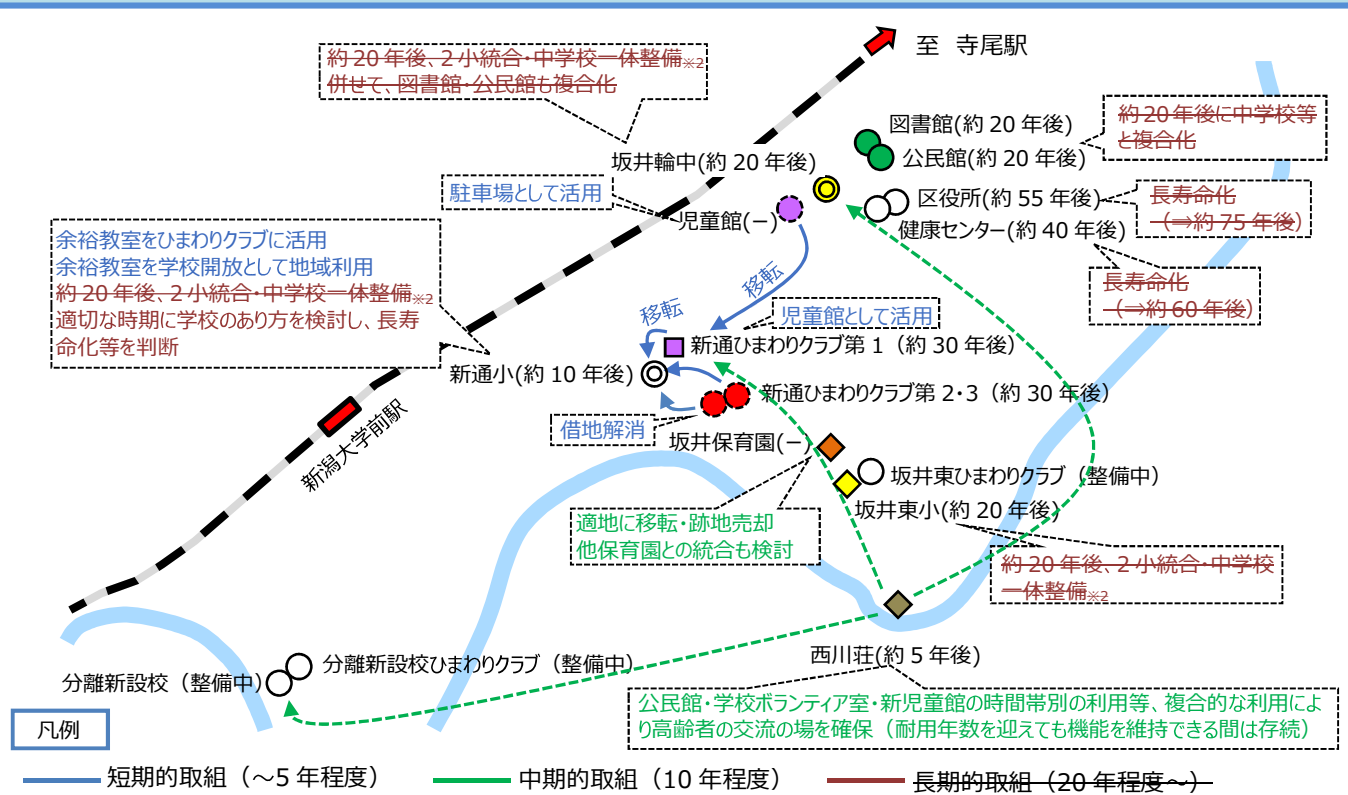
- ・ 新設小学校開設に伴う新通小の余裕教室を活用し、新通ひまわりクラブを校舎内に移転・借地を解消
- ・ 新通ひまわりクラブ第1は、児童館に転用
- ・ 余裕教室を学校開放の位置付けで、自治会活動の場として活用

【中期的取組】

- ・ 市立保育園を適地に移転し、駐車場・園庭スペースを確保
- ・ 西川荘は高齢者の交流の場としての機能を既存施設で分散確保（耐用年数を迎えても機能を維持できる間は存続）

【長期的取組】

- ・ 「将来の児童・生徒数の減少予測を踏まえた2小学校統合と、中学校・図書館・公民館と併せた整備」は、適切な時期に改めて検討



特徴

【長所】

- ・ ひまわりクラブが校舎内に確保され、安全面が強化される
- ・ ひまわりクラブ第1を児童館として有効活用することで、耐震性が確保される
- ・ 保育園を適地に移転することで、駐車場・園庭スペース確保が期待される
- ・ **将来人口を見越した学校の再編を行うことで、大きなコスト削減が見込まれる**

【課題】

- ・ 児童館の移転に伴い、屋外広場の確保が課題となるとともに、駐車場が縮小となることから、近隣での駐車場確保の検討が必要となる
- ・ 保育園移転にあたり、敷地購入や建設工事で多額の費用がかかる
- ・ **中学校の敷地に、統合小学校と中学校を整備する場合、グラウンドが小さくなるのが懸念される**
- ・ **小中学校を一体で整備することで、小中一貫的な教育サービスの提供が可能となるが、分離新設校との教育サービスの差が懸念される**

■ 課題解決のためのコンセプトと対策案

修正 WS案 C

民間施設の活用、交流拠点の分散化

【短期的取組】

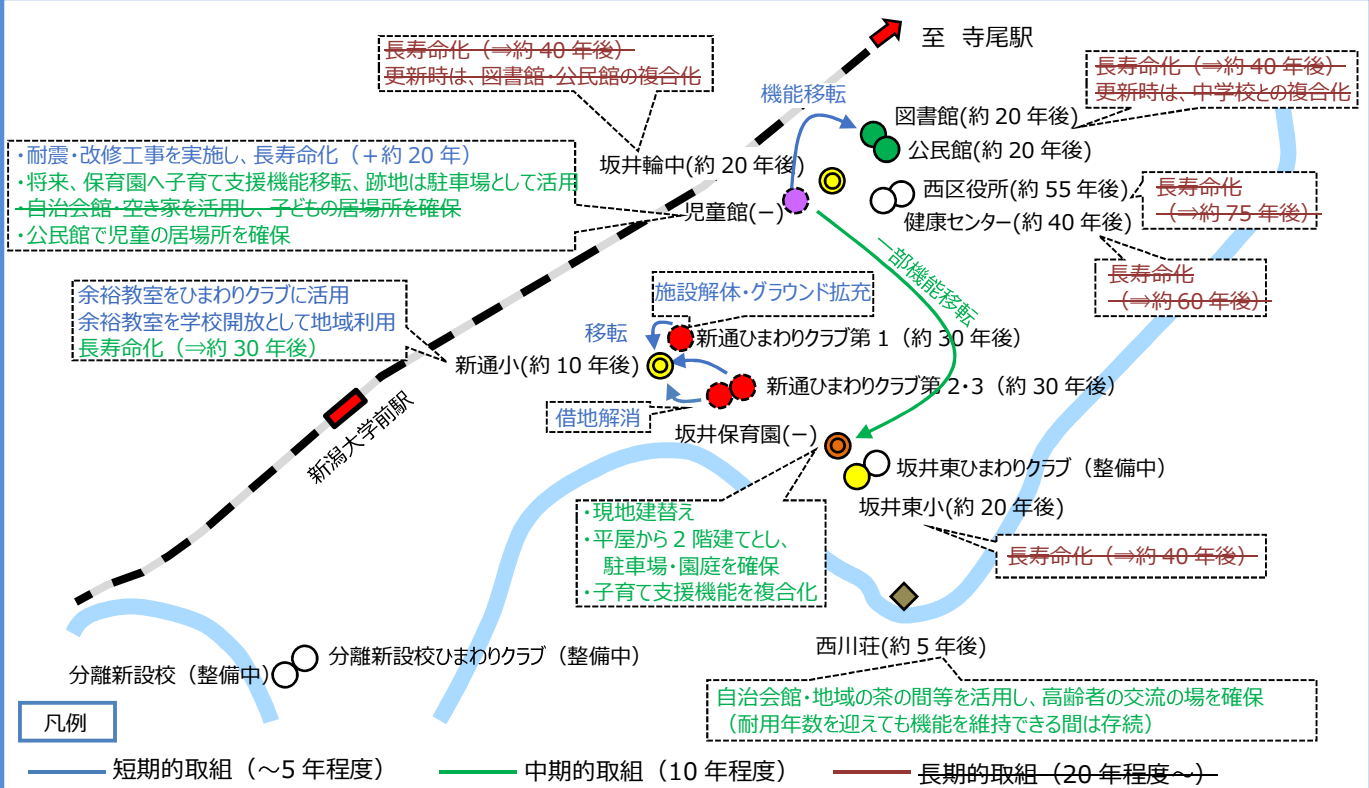
- ・新設小学校開設に伴う新通小の余裕教室を活用し、新通ひまわりクラブを校舎内に移転・借地を解消
- ・新通ひまわりクラブ第1を解体し、グラウンドを拡充
- ・児童館は、耐震・改修工事を実施し、長寿命化

【中期的取組】

- ・児童館の未就学児の子育て支援機能を保育園へ移転し、跡地は駐車場として活用、併せて、自治会館・空き家を活用し、子どもの居場所を確保、併せて、公民館のフリースペースで児童の居場所を確保
- ・市立保育園を2階建に建替え、駐車場・園庭スペースを確保し、併せて、子育て支援機能を併設
- ・西川荘は、自治会館・地域の茶の間等により交流機能を維持（耐用年数を迎えても機能を維持できる間は存続）

【長期的取組】

- ・「中学校の建替え時に図書館・公民館と複合化」は、適切な時期に改めて検討



特 徴

【長 所】

- ・ひまわりクラブが校舎内に確保され、安全面が強化される
- ・西川荘の高齢者の交流機能は、引き続き、坂井輪中学校区にある既存の自治会館・地域の茶の間を活用することで、交流機能が維持される。自治会館なども集会施設として位置付けることにより、活動拠点が分散化され、交流拠点が複数配置される

【課 題】

- ・保育園を現地建替えするには、建設費に加えて仮設の園舎が必要となり、高コストとなる
- ・保育園に児童館機能を複合化して整備することで、子育て支援機能の強化が図られるが、敷地規模の関係から、数台程度の駐車スペースにとどまる可能性がある
- ・児童館の移転に伴い、未就学児の子育て支援機能は確保されるが、公民館のフリースペースには、専門の職員配置が困難

対策案（たたき台）

■ 課題解決のためのコンセプトと対策案

(A案ベース)

WS案

D 子育て支援機能の集約化による機能・安全面の強化、民間活力による施設整備

【短期的取組】

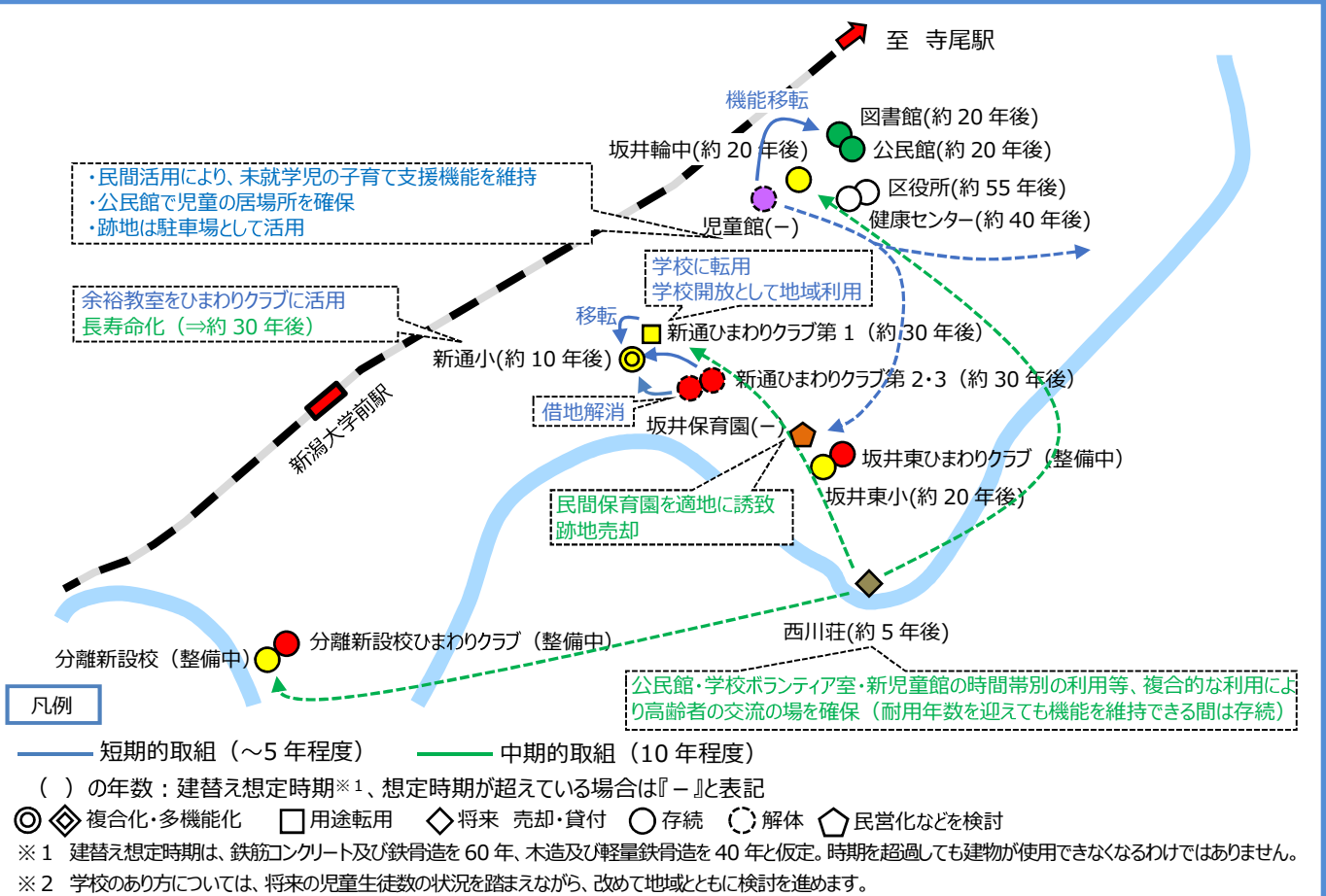
- ・新設小開設に伴う新通小の余裕教室を活用し、新通ひまわりクラブを校舎内に移転・借地を解消
- ・新通ひまわりクラブ第1は、地域交流などに活用できる学校の多目的室として活用し、学校未使用時は学校開放として地域利用に活用
- ・児童館の未就学児の子育て支援機能を、民営化する保育園や商業施設に併設するなど、民間活用により機能維持し、跡地は駐車場として活用。併せて、公民館のフリースペースで児童の居場所を確保

【中期的取組】

- ・民間保育園を適地に誘致し、駐車場・園庭スペースを確保（市立保育園は廃止）
- ・西川荘は高齢者の交流の場としての機能を既存施設で分散確保（耐用年数を迎えても機能を維持できる間は存続）

【長期的取組】

- ・「中学校の建替え時に図書館・公民館と複合化」は、適切な時期に改めて検討



特徴

【長所】

- ・ひまわりクラブが校舎内に確保され、安全面が強化される
- ・ひまわりクラブ第1は、地域交流などに活用できる学校の多目的室として活用されることに加え、休日・夜間の自治会活動での活用の可能性が広がり、地域の活性化にも期待できる
- ・保育園を適地に移転することで、駐車場・園庭スペース確保が期待される
- ・保育園の民営化により、大きなコスト削減と休日の保育サービスの可能性が期待される
- ・児童館の民間活用により、コスト削減や新たなサービス誕生の可能性が期待される

【課題】

- ・児童館の民間活用に伴い、屋外広場が確保されるか不明
- ・児童館の民間活用に伴い、未就学児の子育て支援機能は確保されるが、公民館のフリースペースには、専門の職員配置が困難

対策案（たたき台）

■ 課題解決のためのコンセプトと対策案

(B案ベース)
WS案 E

子育て支援機能の集約化による機能・安全面の強化、将来人口に合わせた機能統合

【短期的取組】

- ・ 新設小開設に伴う新通小の余裕教室を活用し、新通ひまわりクラブを校舎内に移転・借地を解消
- ・ 新通ひまわりクラブ第1は、地域交流などに活用できる学校の多目的室として活用し、学校未使用時は学校開放として地域利用に活用
- ・ 児童館機能を公民館（保育室など）・健康センターで確保し、児童館跡地は駐車場として活用

【中期的取組】

- ・ 市立保育園を適地に移転し、駐車場・園庭スペースを確保
- ・ 西川荘は高齢者の交流の場としての機能を既存施設で分散確保（耐用年数を迎えても機能を維持できる間は存続）

【長期的取組】

- ・ 「将来の児童・生徒数の減少予測を踏まえた2小学校統合と、中学校・図書館・公民館と併せた整備」は、適切な時期に改めて検討



特徴

【長所】

- ・ ひまわりクラブが校舎内に確保され、安全面が強化される
- ・ ひまわりクラブ第1は、地域交流などに活用できる学校の多目的室として活用されることに加え、休日・夜間の自治会活動での活用の可能性が広がり、地域の活性化にも期待できる
- ・ 保育園を適地に移転することで、駐車場・園庭スペース確保が期待される
- ・ 児童館事業を公民館の保育室等で開催することで、利用率向上や多世代交流が生まれる可能性が期待できる

【課題】

- ・ 児童館の機能移転に伴い、屋外広場の確保は難しい
- ・ 保育園移転にあたり、敷地購入や建設工事で多額の費用がかかる
- ・ 児童館事業を一般利用がある公民館・健康センターの諸室で開催するため、利用日や時間に制約があり、常時開催は難しい

■ 課題解決のためのコンセプトと対策案

WS 案物差

現状維持（各案の比較用として、特に対策をせず、現状のままとする案）

【短期的取組】

- ・ 西川荘は、機能が果たせなくなった段階で廃止し、自治会館・地域の茶の間等を活用する
- ・ 児童館、市立保育園を建替え

【中期的取組】

- ・ 新通小を建替え

【長期的取組】

- ・ 坂井東小、坂井輪中、図書館、公民館を建替え
- ・ 新通ひまわりクラブ第1～3を建替え



凡例

—— 短期的取組（～5 年程度） —— 中期的取組（10 年程度） —— 長期的取組（20 年程度～）

() の年数：建替え想定時期※1、想定時期が超えている場合は『-』と表記

◎ ◆ 複合化・多機能化 □ 用途転用 ◇ 将来 売却・貸付 ○ 存続 ⊙ 解体 ◡ 民営化などを検討

※1 建替え想定時期は、鉄筋コンクリート及び鉄骨造を 60 年、木造及び軽量鉄骨造を 40 年と仮定。時期を超過しても建物が使用できなくなるわけではありません。

※2 学校のあり方については、将来の児童生徒数の状況を踏まえながら、改めて地域とともに検討を進めます。

特 徴

【長 所】

- ・ 方針が決定している西川荘以外の施設は、現状の配置・機能が当面の間は継続される

【課 題】

- ・ 課題解決の狙いの達成に寄与できない
- ・ コストを削減できない

■ 課題解決のためのコンセプトと対策案

修正 WS案 A

子育て支援機能の集約化による機能・安全面の強化、民間活力による施設整備

【短期的取組】

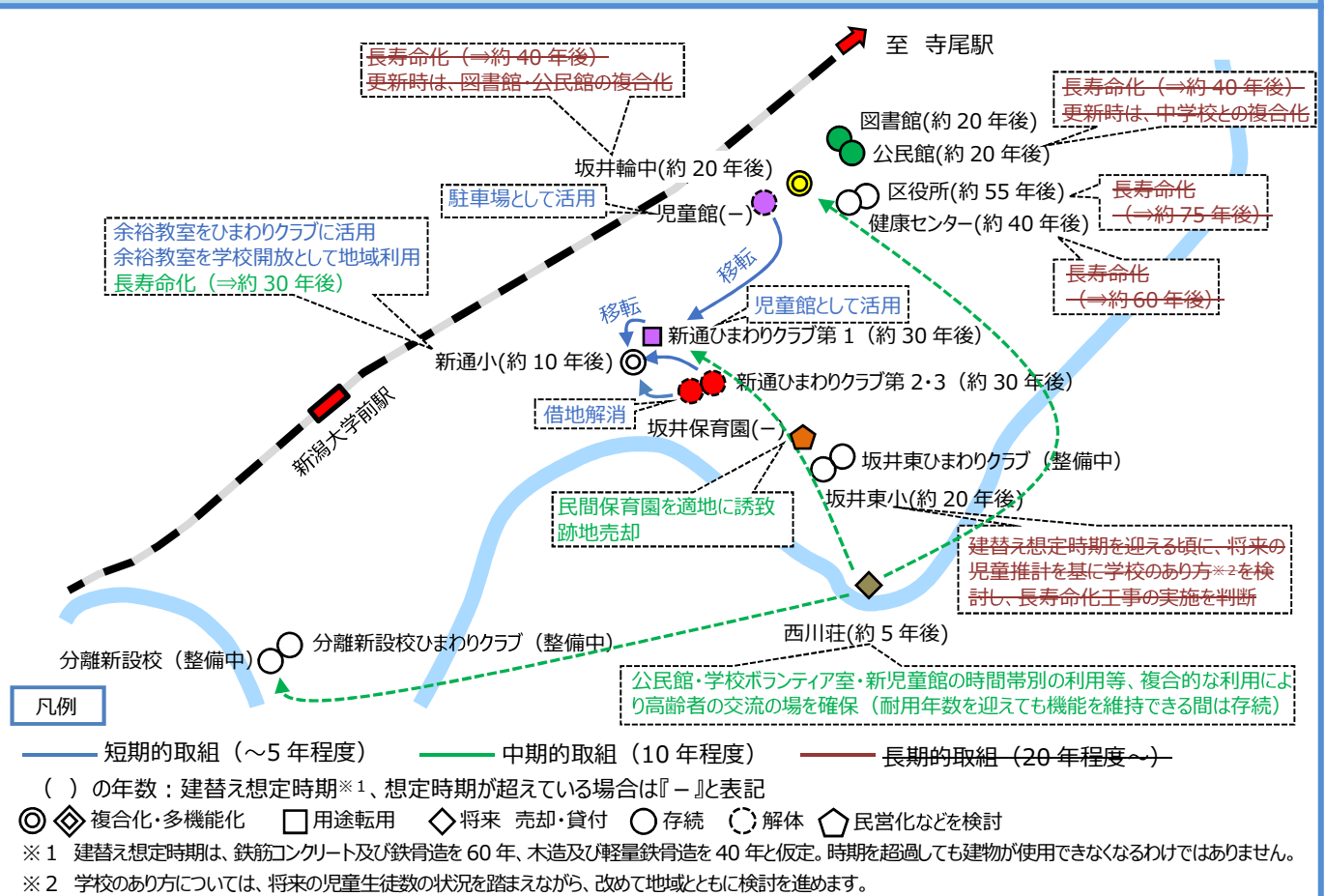
- ・ 新設小学校開設に伴う新通小の余裕教室を活用し、新通ひまわりクラブを校舎内に移転・借地を解消
- ・ 新通ひまわりクラブ第1は、児童館に転用
- ・ 余裕教室を学校開放の位置付けで、自治会活動の場として活用

【中期的取組】

- ・ 民間保育園を適地に誘致し、駐車場・園庭スペースを確保（市立保育園は廃止）
- ・ 西川荘は高齢者の交流の場としての機能を既存施設で分散確保（耐用年数を迎えても機能を維持できる間は存続）

【長期的取組】

- ・ 「中学校の建替え時に図書館・公民館と複合化」は、適切な時期に改めて検討



特 徴

【長 所】

- ・ ひまわりクラブが校舎内に確保され、安全面が強化される
- ・ ひまわりクラブ第1を児童館として有効活用することで、耐震性が確保される
- ・ 保育園を適地に移転することで、駐車場・園庭スペース確保が期待される
- ・ 保育園の民営化により、大きなコスト削減と休日の保育サービスの可能性が期待される

【課 題】

- ・ 児童館の移転に伴い、屋外広場の確保が課題となるとともに、駐車場が縮小となることから、近隣での駐車場確保の検討が必要となる

対策案（たたき台）

■ 課題解決のためのコンセプトと対策案

修正
WS案 B

子育て支援機能の集約化による機能・安全面の強化、将来人口に合わせた機能統合

【短期的取組】

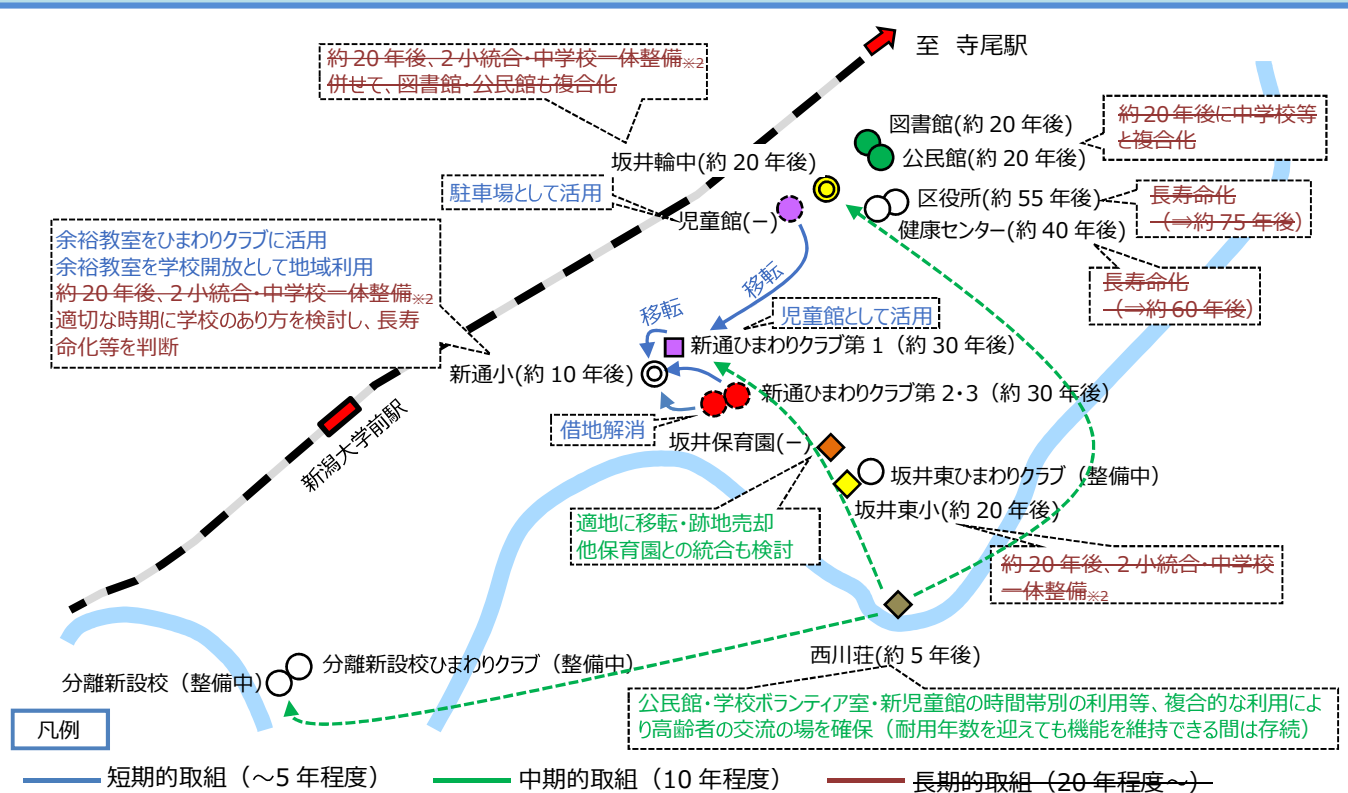
- ・新設小学校開設に伴う新通小の余裕教室を活用し、新通ひまわりクラブを校舎内に移転・借地を解消
- ・新通ひまわりクラブ第1は、児童館に転用
- ・余裕教室を学校開放の位置付けで、自治会活動の場として活用

【中期的取組】

- ・市立保育園を適地に移転し、駐車場・園庭スペースを確保
- ・西川荘は高齢者の交流の場としての機能を既存施設で分散確保（耐用年数を迎えても機能を維持できる間は存続）

【長期的取組】

- ・「将来の児童・生徒数の減少予測を踏まえた2小学校統合と、中学校・図書館・公民館と併せた整備」は、適切な時期に改めて検討



凡例

—— 短期的取組（～5年程度） ——— 中期的取組（10年程度） ——— 長期的取組（20年程度～）

（ ）の年数：建替え想定時期※1、想定時期が超えている場合は「-」と表記

◎ ◆ 複合化・多機能化 □ 用途転用 ◇ 将来売却・貸付 ○ 存続 ⊘ 解体 ⬠ 民営化などを検討

※1 建替え想定時期は、鉄筋コンクリート及び鉄骨造を60年、木造及び軽量鉄骨造を40年と仮定。時期を超過しても建物が使用できなくなるわけではありません。

※2 学校のあり方については、将来の児童生徒数の状況を踏まえながら、改めて地域とともに検討を進めます。

特徴

【長所】

- ・ひまわりクラブが校舎内に確保され、安全面が強化される
- ・ひまわりクラブ第1を児童館として有効活用することで、耐震性が確保される
- ・保育園を適地に移転することで、駐車場・園庭スペース確保が期待される
- ・**将来人口を見越した学校の再編を行うことで、大きなコスト削減が見込まれる**

【課題】

- ・児童館の移転に伴い、屋外広場の確保が課題となるとともに、駐車場が縮小となることから、近隣での駐車場確保の検討が必要となる
- ・保育園移転にあたり、敷地購入や建設工事で多額の費用がかかる
- ・**中学校の敷地に、統合小学校と中学校を整備する場合、グラウンドが小さくなるのが懸念される**
- ・**小中学校を一体で整備することで、小中一貫的な教育サービスの提供が可能となるが、分離新設校との教育サービスの差が懸念される**

課題解決のためのコンセプトと対策案

修正 WS案 C

民間施設の活用、交流拠点の分散化

【短期的取組】

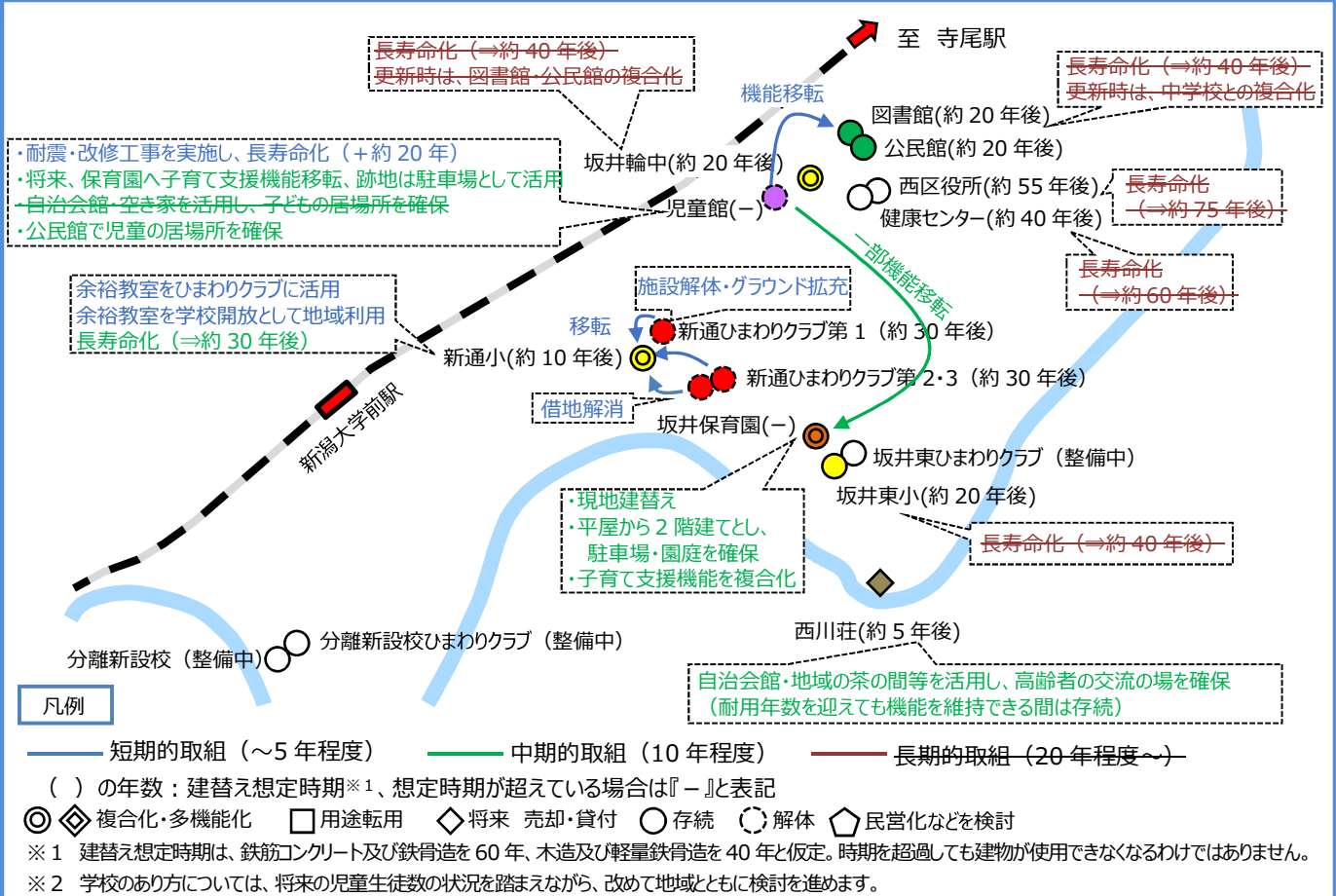
- ・新設小学校開設に伴う新通小の余裕教室を活用し、新通ひまわりクラブを校舎内に移転・借地を解消
- ・新通ひまわりクラブ第1を解体し、グラウンドを拡充
- ・児童館は、耐震・改修工事を実施し、長寿命化

【中期的取組】

- ・児童館の未就学児の子育て支援機能を保育園へ移転し、跡地は駐車場として活用、併せて、自治会館・空き家を活用し、子どもの居場所を確保、併せて、公民館のフリースペースで児童の居場所を確保
- ・市立保育園を2階建に建替え、駐車場・園庭スペースを確保し、併せて、子育て支援機能を併設
- ・西川荘は、自治会館・地域の茶の間等により交流機能を維持（耐用年数を迎えても機能を維持できる間は存続）

【長期的取組】

- ・「中学校の建替え時に図書館・公民館と複合化」は、適切な時期に改めて検討



特徴

【長所】

- ・ひまわりクラブが校舎内に確保され、安全面が強化される
- ・西川荘の高齢者の交流機能は、引き続き、坂井輪中学校区にある既存の自治会館・地域の茶の間を活用することで、交流機能が維持される。自治会館なども集会施設として位置付けることにより、活動拠点が分散化され、交流拠点が複数配置される

【課題】

- ・保育園を現地建替えするには、建設費に加えて仮設の園舎が必要となり、高コストとなる
- ・保育園に児童館機能を複合化して整備することで、子育て支援機能の強化が図られるが、敷地規模の関係から、数台程度の駐車スペースにとどまる可能性がある
- ・児童館の移転に伴い、未就学児の子育て支援機能は確保されるが、公民館のフリースペースには、専門の職員配置が困難

対策案（たたき台）

■ 課題解決のためのコンセプトと対策案

(A案ベース)

WS案

D 子育て支援機能の集約化による機能・安全面の強化、民間活力による施設整備

【短期的取組】

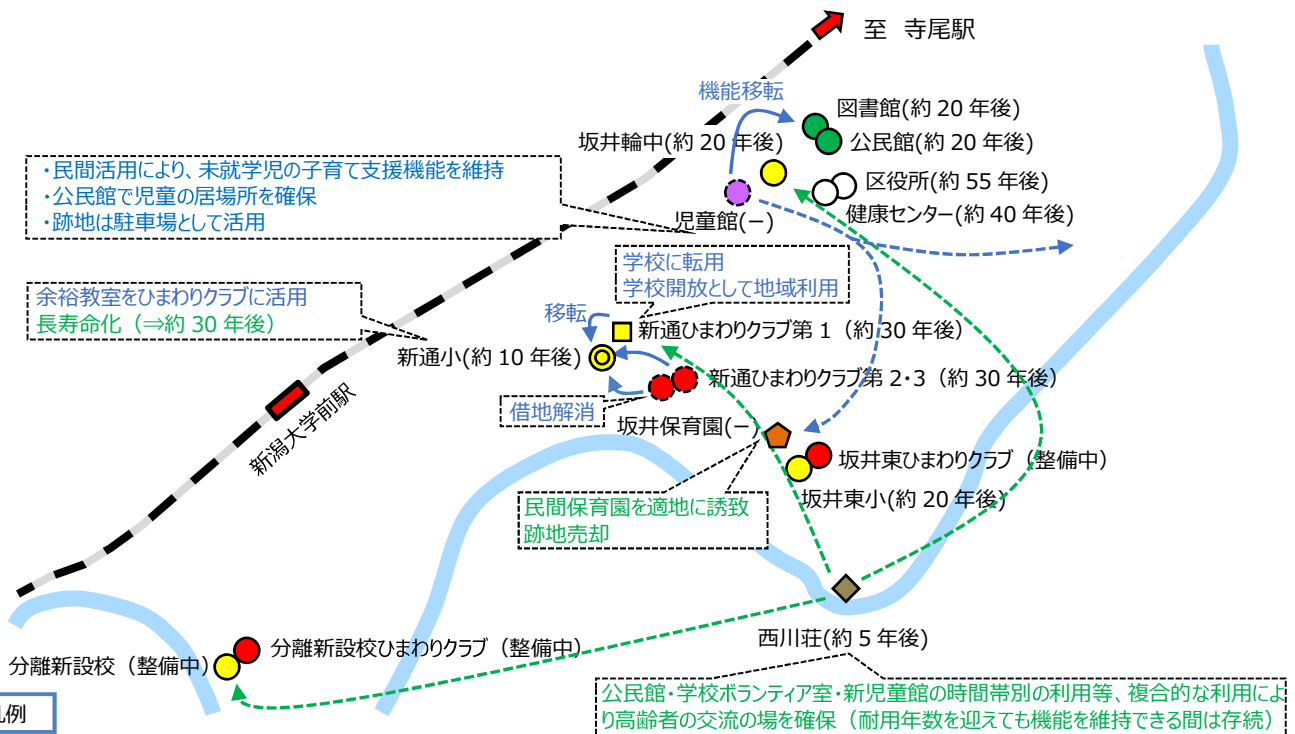
- ・新設小開設に伴う新通小の余裕教室を活用し、新通ひまわりクラブを校舎内に移転・借地を解消
- ・新通ひまわりクラブ第1は、地域交流などに活用できる学校の多目的室として活用し、学校未使用時は学校開放として地域利用に活用
- ・児童館の未就学児の子育て支援機能を、民営化する保育園や商業施設に併設するなど、民間活用により機能維持し、跡地は駐車場として活用。併せて、公民館のフリースペースで児童の居場所を確保

【中期的取組】

- ・民間保育園を適地に誘致し、駐車場・園庭スペースを確保（市立保育園は廃止）
- ・西川荘は高齢者の交流の場としての機能を既存施設で分散確保（耐用年数を迎えても機能を維持できる間は存続）

【長期的取組】

- ・「中学校の建替え時に図書館・公民館と複合化」は、適切な時期に改めて検討



凡例

- 短期的取組（～5年程度） - - - 中期的取組（10年程度）
- () の年数：建替え想定時期※1、想定時期が超えている場合は『-』と表記
- ◎ ◆ 複合化・多機能化 □ 用途転用 ◇ 将来 売却・貸付 ○ 存続 ⊖ 解体 ◡ 民営化などを検討
- ※1 建替え想定時期は、鉄筋コンクリート及び鉄骨造を60年、木造及び軽量鉄骨造を40年と仮定。時期を超過しても建物が使用できなくなるわけではありません。
- ※2 学校のあり方については、将来の児童生徒数の状況を踏まえながら、改めて地域とともに検討を進めます。

特 徴

【長 所】

- ・ひまわりクラブが校舎内に確保され、安全面が強化される
- ・ひまわりクラブ第1は、地域交流などに活用できる学校の多目的室として活用されることに加え、休日・夜間の自治会活動での活用の可能性が広がり、地域の活性化にも期待できる
- ・保育園を適地に移転することで、駐車場・園庭スペース確保が期待される
- ・保育園の民営化により、大きなコスト削減と休日の保育サービスの可能性が期待される
- ・児童館の民間活用により、コスト削減や新たなサービス誕生の可能性が期待される

【課 題】

- ・児童館の民間活用に伴い、屋外広場が確保されるか不明
- ・児童館の民間活用に伴い、未就学児の子育て支援機能は確保されるが、公民館のフリースペースには、専門の職員配置が困難

対策案（たたき台）

■ 課題解決のためのコンセプトと対策案

(B案ベース)
WS案 E

子育て支援機能の集約化による機能・安全面の強化、将来人口に合わせた機能統合

【短期的取組】

- ・ 新設小開設に伴う新通小の余裕教室を活用し、新通ひまわりクラブを校舎内に移転・借地を解消
- ・ 新通ひまわりクラブ第1は、地域交流などに活用できる学校の多目的室として活用し、学校未使用時は学校開放として地域利用に活用
- ・ 児童館機能を公民館（保育室など）・健康センターで確保し、児童館跡地は駐車場として活用

【中期的取組】

- ・ 市立保育園を適地に移転し、駐車場・園庭スペースを確保
- ・ 西川荘は高齢者の交流の場としての機能を既存施設で分散確保（耐用年数を迎えても機能を維持できる間は存続）

【長期的取組】

- ・ 「将来の児童・生徒数の減少予測を踏まえた2小学校統合と、中学校・図書館・公民館と併せた整備」は、適切な時期に改めて検討



特 徴

【長 所】

- ・ ひまわりクラブが校舎内に確保され、安全面が強化される
- ・ ひまわりクラブ第 1 は、地域交流などに活用できる学校の多目的室として活用されることに加え、休日・夜間の自治会活動での活用の可能性が広がり、地域の活性化にも期待できる
- ・ 保育園を適地に移転することで、駐車場・園庭スペース確保が期待される
- ・ 児童館事業を公民館の保育室等で開催することで、利用率向上や多世代交流が生まれる可能性が期待できる

【課 題】

- ・ 児童館の機能移転に伴い、屋外広場の確保は難しい
- ・ 保育園移転にあたり、敷地購入や建設工事で多額の費用がかかる
- ・ 児童館事業を一般利用がある公民館・健康センターの諸室で開催するため、利用日や時間に制約があり、常時開催は難しい

対策案（たたき台）

■ 課題解決のためのコンセプトと対策案

WS 案物差

現状維持（各案の比較用として、特に対策をせず、現状のままとする案）

【短期的取組】

- ・ 西川荘は、機能が果たせなくなった段階で廃止し、自治会館・地域の茶の間等を活用する
- ・ 児童館、市立保育園を建替え

【中期的取組】

- ・ 新通小を建替え

【長期的取組】

- ・ 坂井東小、坂井輪中、図書館、公民館を建替え
- ・ 新通ひまわりクラブ第1～3を建替え



凡例

—— 短期的取組（～5 年程度） —— 中期的取組（10 年程度） —— 長期的取組（20 年程度～）

() の年数：建替え想定時期※1、想定時期が超えている場合は『-』と表記

◎ ◆ 複合化・多機能化 □ 用途転用 ◇ 将来 売却・貸付 ○ 存続 ⊙ 解体 ◡ 民営化などを検討

※1 建替え想定時期は、鉄筋コンクリート及び鉄骨造を 60 年、木造及び軽量鉄骨造を 40 年と仮定。時期を超過しても建物が使用できなくなるわけではありません。

※2 学校のあり方については、将来の児童生徒数の状況を踏まえながら、改めて地域とともに検討を進めます。

特 徴

【長 所】

- ・ 方針が決定している西川荘以外の施設は、現状の配置・機能が当面の間は継続される

【課 題】

- ・ 課題解決の狙いの達成に寄与できない
- ・ コストを削減できない